



## 八女中学校校歌

作詞 調 慧心 (中二)

作曲 吉田信太

一、 暁よする新潮の 波汪洋と月に湧く

有明海の東北 眺望も廣き筑紫野に

礎固く建てられし 八女中學の雄大や

二、 ふりさけ見れば大空に 天翔なす飛形の

高きは似たり吾が想 綠翠影をひたしつゝ

遠く流るゝ矢部川の 潔きは似たり吾が心

三、 矢部の源奥深く 勤王武士のいにしへを

偲ぶゆかりや今も猶 將軍良成親王の

英靈こゝに鎮まりて 大杣に残る一古丘

四、 流風餘韻おのづから 薰り傳はる八女の地に

才徳磨く吾が健児 行く手に當る障害の

八千の醜草刈りはらひ きほひて進め文の道

五、 さあれ君國事あれば 神洲男子獨特の

大和心ふりおこし 祖先にうけし熱烈の

奉公勵め斃るとも やよ一千の健男児



## 八女高等学校校歌

作詞 沢瀉久孝

作曲 藪 文人

一、 ときはの森の 朝風に

泉が丘の 草萌えて

見よ飛形は 青空に

八女の誇りと 立てるかな

二、 わが故郷よ 八女高に

友垣かたき 若人ら

いま新しき いしずゑを

命をこめて 築くべし

三、 流れは遠し 矢部川の

清き岸辺の 夕映を

知れ晴れわたる 明日とこそ

強きわれらが 誓ひとぞ